

**2016 全交 分野別討議**

# 自衛隊の武力行使を許さない

## —「対テロ戦争」を止めよう！

日時：7月31日（日） 9：30から13：00

場所：エルおおさか

京阪・地下鉄「天満橋駅」、京阪・地下鉄「北浜駅」下車

海外ゲスト：

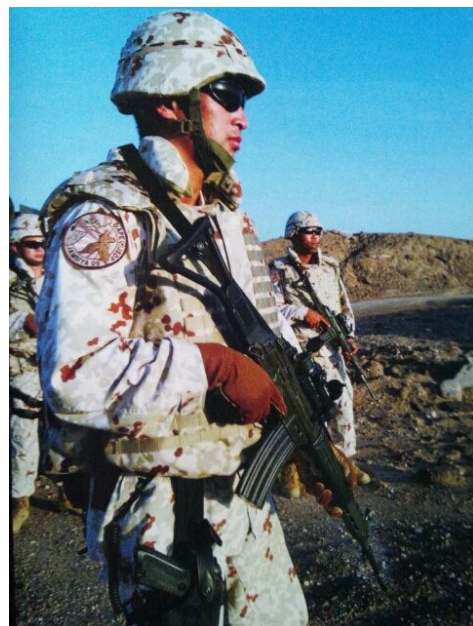
サミール・アディルさん（サナテレビ代表、イラク労働者共産党）

韓国・平和フォーラム代表



（上）南スーダンの自衛隊

（右）ジブチの自衛隊



戦争法（安保関連法）を強行採決した安倍政権は改憲を次を狙うなど、いつでもどこでも海外で武力行使をできる体制作りを進めています。

その手始めとして狙っているのが「対テロ戦争」を口実とした戦闘行為です。7月の参議院選挙の後に南スーダンに派兵している自衛隊に「駆けつけ警護」や「共同防衛」の名の下で武器を使用させようとしています。自衛隊初の海外基地であるアフリカのジブチを出撃拠点にしてイラクや南スーダンなど中東・北アフリカの石油をはじめとした利権確保をもくろんでいるのです。

2016全交のこの分野別討議には、「対テロ戦争」の下で米軍や自衛隊に占領され、今もISIS（「イスラム国」）と米軍などの戦闘によって市民の命が奪われているイラク現地からゲストが参加して「対テロ戦争」の実態を明らかにします。南スーダンでも自衛隊との共同軍事作戦を進める朴槿恵（パク・クネ）政権の軍備増強と戦争政策に反対する韓国の市民運動家にも参加します。

「対テロ戦争」を許さない国際連帯の論議を深め、戦争法廃止、憲法改悪阻止の闘いを広げましょう。

**イラク平和テレビ局 in Japan**    Mail: [info@peacetv.jp](mailto:info@peacetv.jp)    Tel/Fax 06-7493-0230